

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
裾野市	裾野市	平成29年度～令和3年度	平成29年度～令和3年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現 状 (平成28年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。
(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成28年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績 /目標
総人口					
公共下水道	汚水衛生処理人口				
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
集落排水施設等	汚水衛生処理人口				
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率				
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	19,155 人	24,585 人	18,042 人	73.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	36.4%	48.9%	36.0%	73.6%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	11,700 人	7,720 人	9,528 人	54.6%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

■合併処理浄化槽等の汚水衛生処理人口及び汚水衛生処理率

下水道整備区域へ住民が流出したことや人口自体の減少が要因と考えられる。

■未処理人口

浄化槽及び下水道整備事業により市全体で生活排水処理に取り組んだ結果、平成28年度人口から削減することができたが、目標値には届かなかった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度令和8年度まで

■合併処理浄化槽等

浄化槽整備区域内については、特に既存単独処理浄化槽及びくみ取り便槽からの転換により汚水処理人口と汚水処理人口普及率の向上を図るため、市の浄化槽補助制度の見直し及び検討により、転換への重点化を行う。

市ホームページや広報誌への掲載、浄化槽清掃業者と連携し補助金制度の周知を行い、単独処理浄化槽やくみ取りからの転換の促進を図る。

■未処理人口

公共下水道は事業計画に基づき計画的に事業実施していき、浄化槽は既存単独処理浄化槽及びくみ取り便槽からの転換をこれまで以上に促進していき、市全体の未処理人口の解消を図っていく。

(都道府県知事の所見)

浄化槽事業については、特に、既存の単独処理浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽に転換することを重点的に実施し、市全体の未普及人口の解消につなげていくことを期待する。